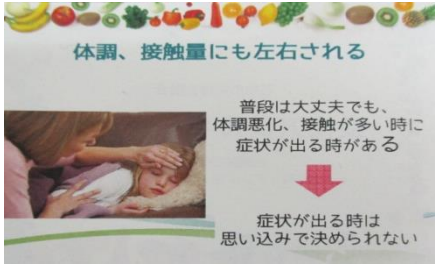


食に関する指導 理論研修会 終了報告

テーマ	食物アレルギーにおける食品の相互関係	
日 時	平成27年7月6日（月）	
会 場	石狩教育研修センター	
講 師	續木 康伸 氏（札幌徳洲会病院 小児科・アレルギー科医長）	
参加者	34名	
研修会 の 様 子		アレルギーは、そのときの体調や接触量にも左右されるので、採血だけで調べることはできず、症状があって初めてアレルギーと言われることを教えていただきました。
		アレルギーである食物の中で、発症しても自然経過で食べることができるもの、食べることができないものに分けられることを教えていただきました。
		離乳食期の体験が多様な程、味覚の幅が広がっていきとされているため、アレルギーである食物の完全除去を長く行くと、体が敵だと思い、味覚の形成も遅れるので食べなくなってしまうことを教えていただきました。
		講演時間が急遽短くなりましたが、日々のアレルギー業務で疑問に感じていることにも答えていただきました。
		講演終了後、学校給食における食物アレルギー対応について各市町村の現状等を交流し、悩みなどを共有することで、とても有意義な研修会となりました。